高校野球　福島大会

スコアブック

【1回】▽会津北嶺＝（投手大鳴）五十嵐二ゴロ。吉田右中間二塁打。田原二ゴロ、2死3塁。倉田中飛▽聖光学院＝（投手関根）猪俣投ゴロ。鈴木三ゴロ。菊地内野安打。竹内右前打、2死一、二塁。細谷遊ゴロ（北嶺0、聖光0）

【2回】▽北嶺＝渡部左飛。山本三ゴロ。井ノ川一ゴロ▽聖光＝石沢見逃し三振。仁平右飛。坂元二直（北嶺0、聖光0）

【3回】▽北嶺＝青柳見逃し三振。関根左飛。五十嵐投ゴロ▽聖光＝大嶋空振り三振。猪俣左前打。鈴木中飛。菊地の打席で猪俣盗塁失敗（北嶺0、聖光0）

【4回】▽北嶺＝吉田一ゴロ。田原中前打。倉田中飛。渡部空振り三振▽聖光＝菊地左中間への三塁打。竹内二ゴロ、菊地生還。細谷左飛。石沢一ゴロ（北嶺0、聖光1）

【5回】▽北嶺＝山本中前打。井ノ川右前打。青柳バントヒット、無死満塁。関根四球、押し出し。五十嵐右前打、井ノ川生還。吉田内野安打、青柳生還。田原空振り三振。倉田中飛。渡部一ゴロ▽聖光＝仁平敵失で出塁。坂元犠打。大嶋中前打、1死一、三塁。猪俣中飛。鈴木敵失で出塁、仁平生還。北嶺投手関根に代わって小林。菊地三ゴロ（北嶺3、聖光1）

【6回】▽北嶺＝山本右飛。井ノ川三邪飛、青柳空振り三振▽聖光＝竹内左前打。細谷左前打。石沢バントヒット、無死満塁。仁平三塁線への安打、竹内生還。坂元の打席で敵失で細谷生還、無死二、三塁。坂元四球。大嶋右前打、石沢、仁平生還、無死一、三塁。北嶺投手小林に代わって水村。猪俣左前打、送球間二進、坂元生還。鈴木犠飛、大嶋生還。菊地左前打、1死一、二塁。竹内右飛、1死一、三塁。細谷の打席で菊地盗塁。細谷二飛（北嶺0、聖光6）

【7回】▽水村＝三ゴロ。五十嵐左前打、二塁タッチアウト。吉田振り逃げ。田原遊ゴロ▽聖光＝石沢二ゴロ。仁平中飛。坂元中前打。大嶋の打席で坂元盗塁失敗（北嶺0、聖光0）

【8回】▽北嶺＝倉田投邪飛。渡部一ゴロ。山本右邪飛▽聖光＝大嶋二塁打、送球エラーの間に三進、猪俣に代打佐々木三塁打、大嶋生還。鈴木に代打大宮遊ゴロ。菊地に代打沼田四球。竹内犠飛、佐々木生還。細谷中飛（北嶺0、聖光2）

【9回】▽北嶺＝井ノ川左飛。青柳に代打新垣右邪飛。水村に代打飯島中前打、代走木村。五十嵐一ゴロ（北嶺0）

北嶺 主将の意地

五十嵐狙い打ち、一時勝ち越し

熱戦ダイヤモンド

会津北嶺打線が大舞台で確かに輝いた。1点を追う五回、5安打の猛攻で3点を奪い、一時逆転。「勢いがあったし、練習の成果を出しきれば絶対勝てると信じてやってきた」。このチームの主将で良かった。この回、自らも適時打を放った五十嵐悠斗（3年）は、王者を相手に堂々の戦いぶりを見せた仲間たちに胸を張った。

0―1から3連打や押し出し四球で同点に追い付き、なお無死満塁で打席に立った五十嵐。勝ち越しの点が欲しい場面で、「相手エースのセのある直球を打つために対策していた」。2球目の直球を振り抜くと、打球は右前に抜けた。吉田海乃（2年）も適時内野安打で続き、聖光学院を黄かした。

だが、六回に四球をはさんだ6連打を浴びて再びリードを許した。「苦しい展開の中、『主将として下を向くわけにはいかない』と、味方を鼓舞し続けた。最後の打者として内野ゴロに倒れても、笑顔の主主涙を流した。

「自分が成長できる場所」だと信じ、栃木県から会津北嶺の門をたたいた。2年前、創部以来初の準決勝に進んだ先輩たちを超えることが目標だった。仲間たちとつかんだ準優勝という結果に、「福島に来て本当によかった」と迷いなく語った。（西元佑太朗）

【聖光学院―会津北嶺】1回裏聖光学院2死一、二塁、適打を浴びた会津北嶺の先発関根⑥。捕手井ノ川が鼓舞する

先発関根 胸張る粘投

⑥会津北嶺の先発関根恒喜（2年）は5回途中を2失点と粘りの投球を見せた。「打たれた後も冷静に抑えることができた。ベストは尽くせた」と語った。

直球と変化球の緩急を生かし、捕手井ノ川陽太（2年）のミットめがけてしゃにむに投げ続けた。2年生ながら4試合に登板し、2回戦では完投するなど今大会で自信を付けた。「打たれても自分のピッチングができるような投手になりたい」。先輩の思いを引き継ぎ、新チームをけん引する覚悟だ。

【会津北嶺】

	打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
遠藤	5	0	0	0	1	0	0	0	0
五十嵐	5	2	1	1	0	0	0	0	0
吉田	4	0	1	0	0	0	0	0	0
倉田	4	0	0	0	0	0	0	0	0
渡部	4	0	0	0	0	0	0	0	0
田原	4	0	0	0	0	0	0	0	0
山本	3	1	0	0	0	1	0	0	0
青柳	3	0	0	0	1	0	0	0	0
関根	3	0	0	0	0	0	0	0	0
小林	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯島	1	0	0	0	0	0	0	0	0
木村	1	0	0	0	0	0	0	0	0
新垣	1	0	0	0	0	0	0	0	0
代打	1	0	0	0	0	0	0	0	0
代走	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	36	3	3	5	1	0	0	4	0

【聖光学院】

	打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
関根	4	1	1	0	0	0	0	0	0
佐藤	4	1	2	0	0	0	0	0	0
鈴木	3	0	0	0	1	0	0	0	0
大嶋	3	0	1	1	0	0	0	0	0
遠藤	3	0	0	0	0	0	0	0	0
田中	3	0	0	0	0	0	0	0	0
竹内	3	1	1	0	0	0	0	0	0
細谷	3	1	1	0	0	0	0	0	0
石沢	3	0	0	0	1	0	0	0	0
仁平	4	2	2	1	0	0	0	0	0
坂元	4	2	2	1	0	0	0	0	0
猪俣	2	0	1	0	0	0	0	0	0
菊地	2	0	1	0	0	0	0	0	0
代打	1	0	0	0	0	0	0	0	0
計	36	10	15	8	2	2	3	1	0

	投	打	安	塁	球	振	失	自
関根	4	1	2	7	4	5	2	1
小林	1	0	0	0	0	1	0	0
水村	3	1	1	4	3	5	0	1
大嶋	9	3	7	12	2	9	5	1
計	17	5	10	23	9	20	7	3

やりきった 後悔はない

会津北嶺・五十嵐悠斗主将（3年）

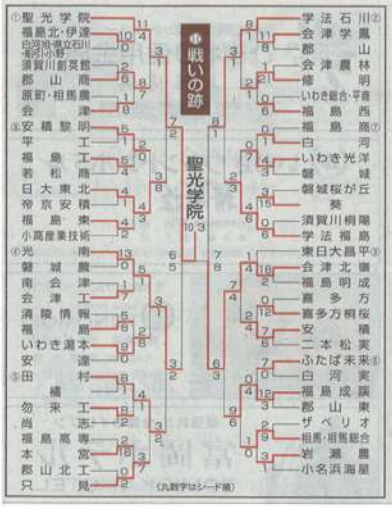
逃げ切れると思ったが、相手の執念が一枚上手だった。仲間と出会えてうれしいし、最高の3年間だった。やりきったし、後悔はない。

3年生9人が役割全う

会津北嶺・木口興監督　ノーシードからよくやってくれた。3年生9人がそれぞれの役割を全うしてくれたおかげだ。この敗戦をばねにしてさらに強いチームをつくっていく。

【聖光学院―会津北嶺】5回表会津北嶺無死満塁、適時打を放つ五十嵐＝ヨークしわきスタジアム

【聖光学院―会津北嶺】5回表、五十嵐の適時打で盛り上がる会津北嶺ベンチ



ノーシード粘り強く戦った

■大会総括

10日に開幕した夏の福島大会は12日間にわたって熱戦が繰り広げられた。4年連続20度目の甲子園出場を決め、王者の貫禄を見せつけた聖光学院は5試合中4試合で逆転勝利を収める終盤の勝負強さが光った。

準優勝の会津北嶺はノーシードから創部8年目で初めて決勝進出を果たした。会津支部では40年ぶりとなり、地元を大きく盛り上げた。

ベスト4の2校は、準決勝で6点を追い上げた第2シード学法石川、序盤に最大5点をリードした第4シード光南と、それぞれ意地を見せた。本宮は部員不足で単独出場できない高校が他校から部員を借りて出場する「単独廃校ルール」を県内で初めて適用した。

気温上昇を受け、準々決勝、準決勝の試合時間を30分繰り上げるなど、例年以上に熱中症対策にも力を入れた今大会。拮抗した展開が多く、延長戦にもつれ込む試合も少なくなかった。県高野連の木村保理事長は「会津北嶺を代表にノーシードの学校も一球一打席粘り強く戦い、シーソーゲームが多くなった」と話した。

甲子園は8月5日に開幕する。聖光学院は敗退した60チームの球児たちの思いを力に変え、さらに熱く戦ってきてほしい。（高校野球取材班）